

# 伴野豊の絆レポート NO.31



## 伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？今週は大型で強力な台風8号も接近しており、くれぐれもご注意ください。

今年もあっという間に半年が過ぎ、七月も一週間が経ちました。一年の前半のチェックと反省、更にはそれに基づく修正。これから一年の後半をどう過ごして行くか。この時期の修正や微調整は、今年一年を一層充実したものにするために大変重要だと思います。

季節も天候も景気も短期間に激しく変化する昨今。体調管理に気をつけて元気に乗り切って参りましょう！

## 伴野豊の気になる国土交通政策



国土交通政策において気になる最近の動きをピックアップしてみました。

### ○建設産業活性化会議「中間とりまとめ」を決定（6月26日）

国土交通副大臣が座長を務め、日本建設業連合会など業界6団体と有識者を構成員とする建設産業活性化会議の会合を開き、深刻な人手不足の解消に向けた対策の中間とりまとめを行いました。若年層や女性の業界への就労を後押しするため週休2日制の実現など職場環境の改善を促すことで一致しました。

### ○新たな「国土のグランドデザイン」案を公表（6月27日）

2050年を見据えた国や地域づくりの指針となる「国土のグランドデザイン」案を公表しました。50年の人口は約9700万人まで減少し、現在、人が住んでいる地域の6割で人口が半分以下になると予測。人口30万人以上の都市（三大都市圏は除く）も61から43に減ると想定。その上で、人口が減っても地域の活力を維持向上するには、点在する医療、商業、行政など各分野の施設を徒歩やバスなどで行ける範囲に集約する生活に便利な拠点づくりが必要と強調。こうした市街地のコンパクト化を基本戦略の柱に位置付けました。

### ○平成25年度国土交通白書が決定（7月1日）

「これからの社会インフラの維持管理、更新に向けて」をテーマとして取り上げています。社会インフラを取り巻く現状や先進事例、これらを考察して、将来にわたって適切に維持管理が行われるよう方向づけられました。

### ○国直轄道路の地方移管538キロを公表（7月1日）

地方分権改革の一環として自治体と協議を進めてきた国直轄道路の権限移管について、今年1月～6月末までに約540キロ分の地方移管を合意したと発表しました。

大半がバイパスと並走する国道で、バイパスの開通を待って、順次、移管する予定です。合意したのは、35道府県の61路線。国道の移管をめぐるのは、昨年12月に、自治体が地域の実情に応じて活用できるよう、国と自治体で協議した上で、移譲を進める方針を閣議決定し、その後、地方整備局と自治体の間で協議を進めて参りました。

## 伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、29歳の社会学者 古市憲寿さんの「だから日本はズレている」です。「この国の『大人たち』は、いつもどこかズレている。ジョブズのようなリーダーに憧れ、夢と絆で一つになれると信じ、『日本の良さ』は必ず伝わりと疑わず、若者には変革を期待し、学歴や就活は古いと嗤いデモや SNS で世界は変わると訴える。この『勘違い』はどこからくるのか？」現代日本の大きな「ズレ」に焦点を当て、その「ズレ」の中でもがき苦しむ「若者」たちを描き、様々な「ズレ」を放置し続けた結果、訪れてしまうかも知れない「2040年の日本」を予測した。日本の将来のために今やれる事を考える上で必読の一冊。

新潮新書(定価:本体740円+税別)

ば

ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

伴野豊事務所 半田市青山2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

